



日野市のごみ情報誌

エコ

Vol.39

平成28年10月 発行 / 日野市環境共生部クリーンセンターごみゼロ推進課

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

5つのRで始まるキーワード

1 断	る	Refuse
2 減	量	Reduce
3 何度も使う		Reuse
4 返	す	Return
5 分別徹底		Recycle

〒191-0021 日野市石田 1-210-2 ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>

「エコー」は市HPでもご覧いただけます。公共施設にも置いてあります。



夏休みごみ探検隊を実施しました

毎年好評の「夏休みごみ探検隊」が7/25～27、8/16～18に開催され186人が参加しました。普段入ることができないクリーンセンターで、日野市のごみがどのように処理されるかを勉強したり、クイズラリーでは当選者へ「ごみ減量啓発戦士ごみゼロマンレッド・ヴェルディ」や「エコアラ・エコクマ」から素敵なプレゼントもあり、参加した子供たちは大喜びでした。



8/24、夏休みごみ探検隊参加者を対象に日野市で処理されたごみが最後に運ばれる場所である二ツ塚処分場（日の出町）の見学会を実施しました。

探検隊で学んだ焼却灰からエコセメントをつくる工場や残った不燃ごみを埋め立てる場所、また、すでに埋め立てが完了した谷戸沢処分場を見学し、子供たちは改めてごみ減量の大切さを学んだようでした。



最終処分場見学会（三多摩は一つなり交流事業）も実施しました



今号の主な内容

- 雨の日のごみの出し方、粗大ごみの出し方など 2・3面
- 生ごみ減らそう！活かそう！大作戦！ 4・5面
- クリーンセンターの建て替え・可燃ごみ処理の広域連携について 6・7面
- 容器包装お返し大作戦！にご協力ください 8面

この情報誌「エコー」は、環境（Environment）と協力（Cooperation）の頭文字が皆さんのもとへ響き、それが大きな反響となって広がっていくことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減っていき、最終的には0「ゼロ」に近づけて欲しい、という思いも込められています。皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

粗大ごみの出し方

粗大ごみを排出する際は、事前に申し込みが必要です。シールを貼って置いておくだけでは回収しません。下記の手続きに従って適切な排出をお願いします。

1. 引き取りの日を予約する

申し込みの際に、料金の確認をしてください。

申込先 (株) 日野環境保全

☎581-4331

受付時間 月曜～金曜日8:00～16:30

※申込先はクリーンセンターではありません

お願い 週明けおよび連休明けは電話が混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は時間を空けておかけ直してください。



2. 粗大ごみシールを購入する

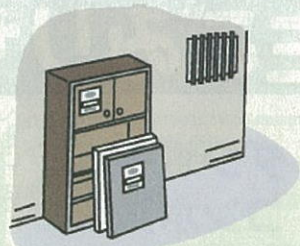
申し込みの際に確認した金額分の「粗大ごみ等処理券」(シール)を購入してください。取扱店の一覧は「ごみ・資源分別カレンダー」の25ページに掲載しています。

3. 決定した収集日に出す

予約した日の8:00までに、シールに名前を記入し、粗大ごみに貼って道路に面した自宅敷地内(集合住宅は決められた排出場所)に出してください。雨天でも収集します。

※排出時の注意

電池が入っているものは必ず抜いてから出してください。また、ガラスや金属はできるだけ外してください。



ふれあい収集

粗大ごみを室外へ無料で運び出します

対象者

- ①65歳以上の高齢者のみの世帯
- ②身体障害者手帳1・2級をお持ちの方のみの世帯

申込方法 粗大ごみの収集申し込みの際に「ふれあい収集希望」と申し出てください。

- ・1回3点まで
- ・①・②とも自らの運び出しが困難で、身近な方の協力が得られない場合に限る
- ・玄関から出ない大きさの物、解体など運び出し以外の作業が発生する物を除く
- ・粗大ごみの処理料金は通常通り「粗大ごみ等処理券(シール)」を購入

雨の日のごみの出し方



雨が降っていても「いつもと同じ場所に、いつもと同じように」

ごみの収集(可燃ごみ・不燃ごみ・資源物)は、雨の日でも原則実施します。

「雨が降っているのに軒下に出した」「雨が降っているのに濡れないように物をかぶせておいた」というご連絡をいただくことがありますが、これらは回収漏れの原因になります。

雨が降っていても、いつもと同じ場所に、いつもと同じように出してください。

特に資源物(新聞紙、雑誌・雑紙類、古着・古布類など)は、排出時に濡れないように配慮いただくことが多いようですが、運搬時には濡れてしまうので雨の日に出されたものは資源にはなりません。

できれば次回以降、晴れた日に排出いただくようお願いします。どうしても雨の日に出される場合は回収漏れを防ぐため、「いつもと同じ場所に、いつもと同じように」排出するようお願いします。

「ごみゼロ大作戦!!ごみ減量ポスター展」を開催

小・中学生を対象に「ごみゼロ大作戦!!ごみ減量ポスター展」の作品を募集したところ、1,075作品の応募がありました。日野市美術連盟による選考の結果、152作品が入選、うち15作品が入賞作品として選ばれました。

入選作品は、11/12(土)～23(火)、イオンモール多摩平の森で展示します。子供たちの素晴らしい作品を、ぜひご覧ください。

【最優秀作品】

(敬称略)

小学生の部



今野 優希 (八小4年)

中学生の部



鈴木 凜 (四中2年)

【その他入賞者】 (敬称略、順不同)

- ・**優秀賞** 小池 香純 (豊田小2年)、中村 咲希 (八小4年)、小俣 彩音 (七小6年)、中村 いせり (旭が丘小4年)、徳千代 彩歌 (三沢中3年)
- ・**佳作** 小嶋 七葉 (一小5年)、澁谷 愛美 (四小5年)、辻 匠然 (四小6年)、徳千代 真嘉 (八小4年)、和田 悠希 (東光寺小4年)、須田 理央 (仲田小1年)、中村 まとい (四中2年)、太田 優葵 (三沢中3年)

生ごみ減らそう！活かそう！大作戦！

市民のページ

知恵袋

生ごみリサイクルサポーター連絡会が企画・編集したコーナーです。

生ごみリサイクルサポーター連絡会とは、生ごみの減量と堆肥化を推進する組織で、市民約20人で構成されています。



「食品ロス」のない暮らしを目指して

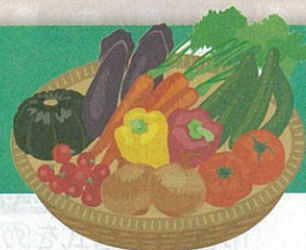
まだ食べられるのに捨ててしまう食品のことを「食品ロス」といいます。この食品ロスは日本で年間500～800万トンあるといわれ、この半量は一般家庭から出されています。一方、世界の食料支援は年間390万トン。つまり日本では世界の食料支援の約2倍の食品を捨てている計算になります。

食品ロスは食品だけが無駄となるだけではなく、それを生産するのに使った水や労働力などの資源までも無駄にしていることになります。また、食品ロスは生ごみにもなり、行政が可燃ごみとして収集し焼却処理するためにも多額の税金が使われ、地球温暖化のもととなる二酸化炭素(CO2)も排出します。食品ロスの主な原因は、賞味期限切れ、作りすぎ、食べ残しなどです。これらを減らすために各家庭でできる取り組みを紹介します。



3切り運動をやろう！

“水切り” “食べ切り” “使い切り” の習慣を



水切り 生ごみは捨てる前によく絞りましょう。

食べきり つい作りすぎて食べきれないことはありませんか。下準備の時に食材を全部使わないで一部を使いやすい段階で保存し、次の日の料理に使ってみてはいかがでしょうか。お料理も楽ですよ。また、外食の時も残さず食べきれぬ量を注文しましょう。

使い切り 野菜など皮もまるごと使い切ることで栄養もとれ、お財布にもやさしいです。また、同じものを買わないように冷蔵庫の中を確認しましょう。消費期限や賞味期限をこまめに確認し、期限の迫っている物から先に使いましょう。

賞味期限 加工食品やスナックなどに記載され、おいしく食べられる期限。賞味期限の場合は日付が過ぎたとしても食べられないわけではありません。

消費期限 お弁当や生洋菓子などに記載され、安全に食べられる期限。期限内に食べましょう。

家庭でできる生ごみ減量

●ダンボールコンポストによる堆肥化

ダンボールコンポストはご家庭の生ごみを堆肥化でき、生ごみ減量にはとても効果的です。

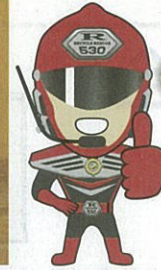
●埋め立て

お庭や畑がある場合は、そこへ埋める方法もあります。

ダンボールコンポストとは



セット価格 500円(補助金適用後)



日野市一押し!!
補助金も手厚く
なりました!

ダンボールコンポストの利点

- 生ごみが減り、ごみ袋代の節約にもなります。
- 生ごみを毎日処理でき、台所をスッキリ、清潔に保てます。
- 生ごみ堆肥を使うと、元気な野菜や花ができます。
- 子供たちへの環境教育・食育に役立ちます。



ダンボールコンポストとはダンボールの中に基材の竹パウダーを入れて生ごみを毎日投入し、竹に含まれる微生物の働きで発酵分解させ堆肥にするものです。特徴は通気性に優れているため、水分がたまりにくく使いやすいことです。

ダンボールコンポストの申し込みはごみゼロ推進課へ

☎581-0444 FAX 586-6606 ✉gomizero@city.hino.lg.jp

生ごみリサイクルサポーターの活動

ダンボールコンポスト 使い方講習会

市民サポーターと市と一緒に、地域の交流センターなどで初心者向け・経験者向けの二部構成で開催しています。日程は広報ひのや自治会の回覧などでお知らせします。

展示説明会

リサイクルショップ「回転市場」万願寺店で、市民サポーターがダンボールコンポストの展示説明や相談などをお受けしています。ダンボールコンポストの申し込みもできます。

日時 毎月第4水曜日11:00～13:00
※祝日を除く

生ごみ堆肥で育て ています～生活・ 保健センター花壇

ダンボールコンポストでできた生ごみ堆肥を使用してお花を育てています。ぜひ、生ごみ堆肥の効果をご覧ください。



会場	初心者向け	経験者向け
落川交流センター	実施済み	11/9(水)
新町交流センター	11/4(金)	12/2(金)
イオンモール多摩平の森	12/7(水)、3/9(木)	
万願寺交流センター	1/16(月)	2/20(月)
平山交流センター	2/1(水)	3/1(水)

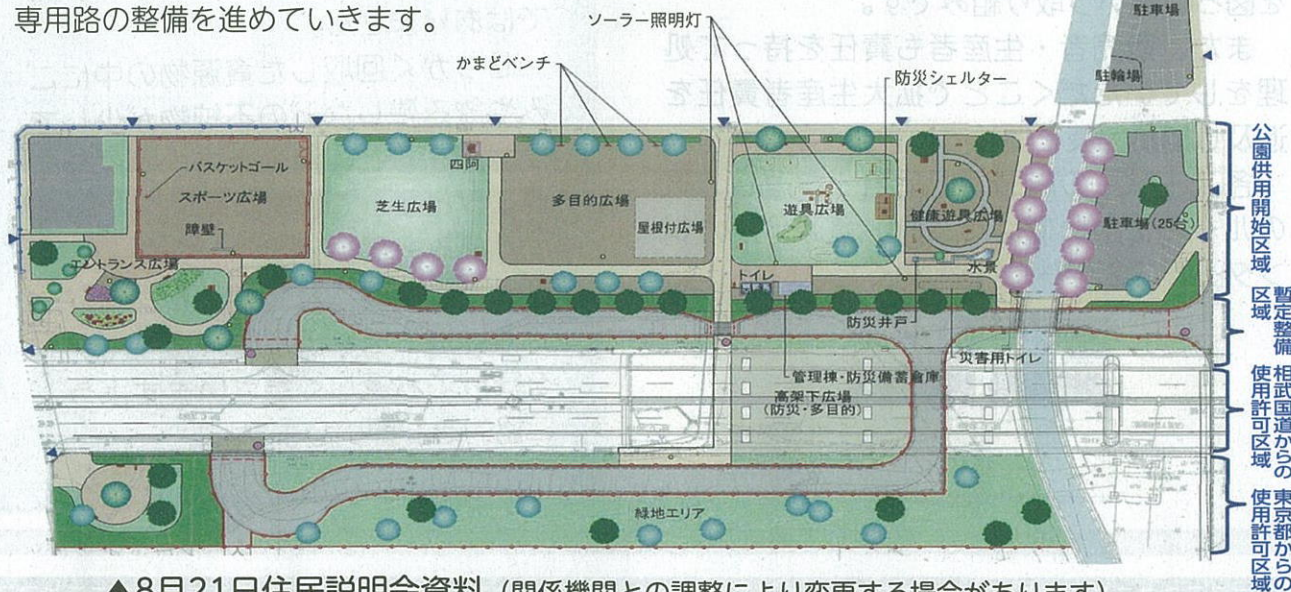
※時間はいずれも14:00～15:30

クリーンセンターの建て替え

可燃ごみ処理の広域連携について

1 北川原公園の整備(案)がまとまりました

平成27年10月4日、平成28年2月7日に、東部会館において北川原公園予定地に隣接する4自治会(下田、新石、万願寺、下田住宅)の皆さまを対象に住民説明会を開催し、5月15日と6月25日には、地元4自治会の役員の方など(各自治会から2・3人が参加)とともに北川原公園整備に向けた検討を行いました。検討結果を、8月21日の東部会館での3回目の住民説明会において4自治会の皆さま(46人が参加)に示しました。この整備案をもとに、関係機関と調整をふまえ北川原公園とクリーンセンター専用路の整備を進めていきます。



▲8月21日住民説明会資料(関係機関との調整により変更する場合があります)

2 自治会と連携したごみ減量モデル事業の開始

9月から、環境への配慮、ごみ減量に向けた取り組みをクリーンセンター地元自治会(新石自治会)と連携して試行的に開始しました。

諸力融合

プラスチック分別による課題検証

平成32年から開始するプラスチックの資源化に伴う分別回収に先立ち、市民が分別する際や、市が回収する際の課題などを検証するため、プラスチックの分別に先行して取り組んでいます。

青袋：プラスチック
オレンジ袋：不燃ごみ
白袋：発泡スチロールなど



プラスチック分別回収の様子

大きな袋を使って草・花・落ち葉などの排出検証

市の指定収集袋は入れる口に取手が有り、「細かな枝や草などが入れにくい、引っかかって破れやすい」などのご意見が寄せられています。市販の大きな袋(90ℓ程度)で草や落ち葉などを排出し、回収時の課題などを検証します。

緑化促進
CO2削減

剪定枝の資源化に向けた検証

現在可燃ごみや市内20カ所の拠点で回収している剪定枝などを資源化するための課題を検証するため、家庭で剪定した枝などをクリーンセンターに持ち込み資源化に取り組んでいます。

3 プラスチック類資源化施設を整備します

さらなるごみの減量と資源化の推進を図るため、新可燃ごみ処理施設稼働(平成32年度予定)に合わせてプラスチック類資源化施設を整備します。

■整備事業

事業名 日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設整備事業(日野市単独処理事業)

事業内容 プラスチック類 約19ト/日、不燃ごみ 約7ト/日、
不燃性粗大ごみ 約2ト/日を処理する施設

場所 日野市クリーンセンター敷地内

総事業費(予定) 41億3,100万円(税込)

■生活環境影響調査

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、生活環境影響調査書を作成しました。施設の内容、現状および周辺環境の状況などにより、大気、騒音、振動、悪臭などについては、いずれの項目についても生活環境へ著しい影響を及ぼさないと考えられます。生活環境影響調査書の縦覧は以下の日程で実施します。

縦覧期間 10月17日(月)～11月15日(火)

■縦覧場所・時間

- ・日野市クリーンセンターおよび市役所3階環境保全課 9:30～16:30 ※土曜・日曜日、祝日を除く
- ・市政図書室 9:30～16:30 ※日曜日、祝日を除く
- ・中央・日野・平山・多摩平・百草・高幡図書館 10:00～16:30 ※月曜日を除く

■生活環境の保全上の見地からの意見書の提出

市HPから書式をダウンロードし、11月30日(水)までに〒191-0021石田1-210-2日野市クリーンセンター施設課 (FAX 586-6606 ☒sisetu@city.hino.lg.jp)へFAX、☎、郵送または持参

☎施設課 (☎581-0443)

■今後の予定

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業者選定準備				
●入札公告 (平成28年11月)	●事業者決定	設計・建設		
				稼働開始

4 クリーンセンター専用路に関する住民監査請求の監査結果が出されました

平成28年7月15日および8月15日に市内在住の方々から、北川原公園専用路(クリーンセンター専用路)整備工事実施設計業務委託契約に基づく支出をしないよう求める住民監査請求が出されました。

監査結果は、①北川原公園専用路整備工事実施設計業務委託契約は、契約事務に係る通常の手続に従って適法に締結されていること②地方自治法及び補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に違反しないことから、平成28年9月6日に監査委員より「請求(主張)には理由がない」と判断されました。

監査結果の詳細は **市HP** ▶ **市政情報** ▶ **行財政** ▶ **監査** ▶ **監査の結果(平成28年度)** からご覧になれます。

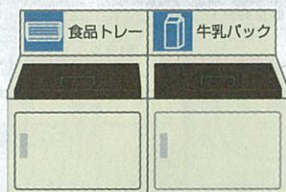
容器包装お返し大作戦！ にご協力ください



「容器包装お返し大作戦！」は、お店が販売した品物のペットボトルやトレイ、牛乳パックなどの容器包装を買ったお店に返していただき、将来的にごみになるものを家庭に持ち込まないことで、ごみの発生回避を図ろうという取り組みです。

また、販売者・生産者も責任を持って処理をしていただくことで拡大生産者責任を追究し簡易包装を促していきます。

各スーパーの店頭回収品目・お返しの際のルールについては「ごみ・資源分別カレンダー」の27ページを御覧ください。



お返しの際はルール・マナーを守って！

各店舗の返却ボックスは、ごみ箱ではありません。

せっかく回収した資源物の中にごみや飲み残しなどの不純物が少しでも混入すると、資源化できずに全てがごみとなってしまいます。

「ごみ・資源分別カレンダー」27ページに記載されたルールを守り、ごみは捨てないようルール・マナーを守ってお返しくださいますよう、ご協力をお願いします。

お買い物の際はマイバッグを持参！ レジ袋を断りましょう



不燃ごみのほとんどを占めるプラスチック製品、そのうち代表的なものが「レジ袋」です。レジ袋はさまざまな使い道があり大変便利ですが、たくさん取っておいても結局使われずに何年も前の物がしまわれているということもよくあります。大掃除の時などに「思い切って捨てちゃおう！」ということになると、結局ごみになってしまいます。

そこで日野市では、最終的にごみになるものを家庭に持ち込まない（ごみの発生回避）という観点から、お買い物の際にマイバッグを持参し、レジ袋を断るということを推奨しています。

また、毎年5月・10月はマイバッグ持参強化月間として、各スーパーでの出口調査や店内放送で、マイバッグの持参をお願いしています。

おかげさまでマイバッグ持参率は徐々に増えつつありますが、マイバッグを持参してもレジ袋をもらっている方も見受けられます。

ぜひ「買い物は 行き（お返し容器を入れる）も帰り（買った品物を入れる）も マイバッグ」「マイバッグ 使って断る レジ袋」にご協力ください。